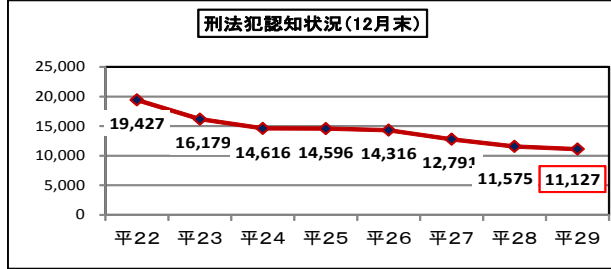


刑法犯・性犯罪の認知状況（平成29年中）

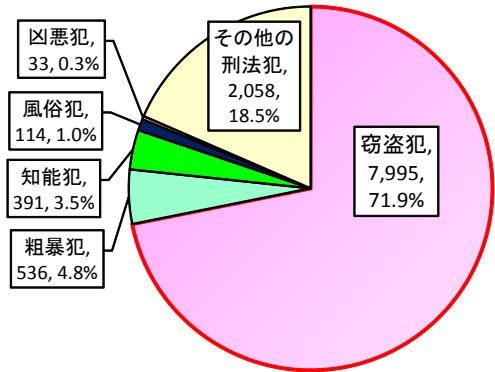
○ 平成29年中の刑法犯認知状況

平成29年中 11,127件（前年比 - 448件）



	平成29年中	増減
凶悪犯（殺人・強盗等）	33	-19
粗暴犯（暴行・傷害等）	536	-57
窃盗犯	7,995	-202
知能犯（詐欺等）	391	-94
風俗犯（含わいせつ事犯）	114	38
その他の刑法犯	2,058	-114
計	11,127	-448

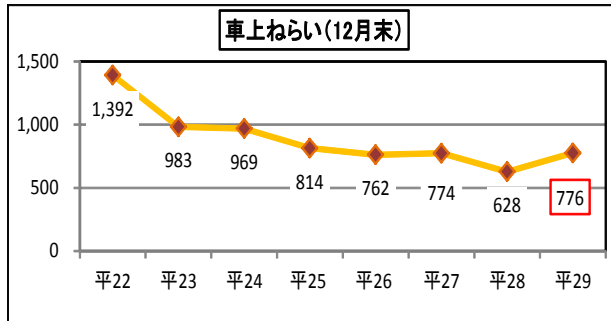
罪種別内訳



・ 刑法犯全体の約7割（71.9%）を窃盗犯が占める。

○ 車上ねらいの被害の認知状況

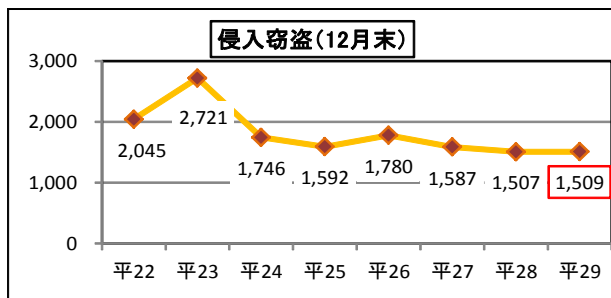
平成29年中 776件（前年比 + 148件）
【車上ねらい被害の認知状況】



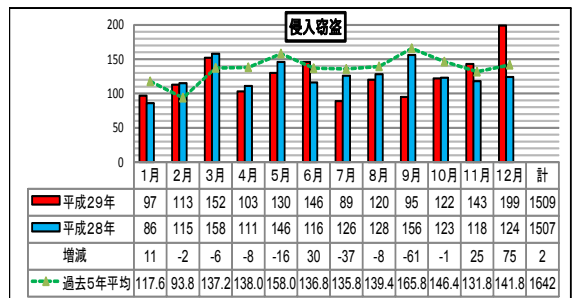
自動車等の車内から金品が盗まれる『車上ねらい』の被害が増えています！！被害の特徴として67.5%が無施錠の車内から被害に遭っていて、県中方部で特に被害が多くなっています。
防犯対策として
・ 車の窓や鍵は必ず閉める
・ 外から見える場所に物を置かない
・ 明るく、人目に付く場所に駐車することが挙げられます。
防犯対策をしっかりして、被害に遭わないようにしましょう！！

○ 侵入窃盗被害の認知状況

平成29年中 1,509件（前年比 + 2件）
【侵入窃盗被害の認知状況】

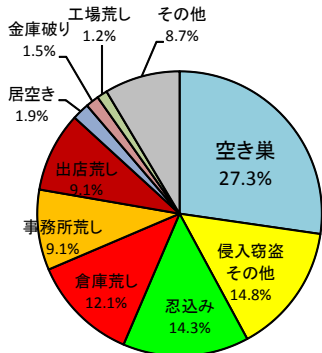


【侵入窃盗被害月別】



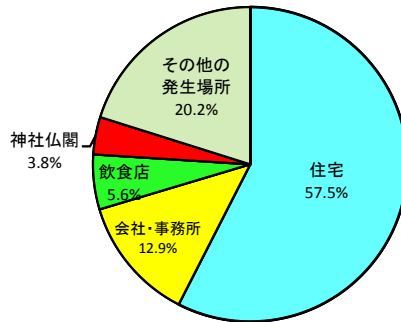
※侵入窃盗…空き巣等の建物に侵入して金品を盗む犯罪

手口別



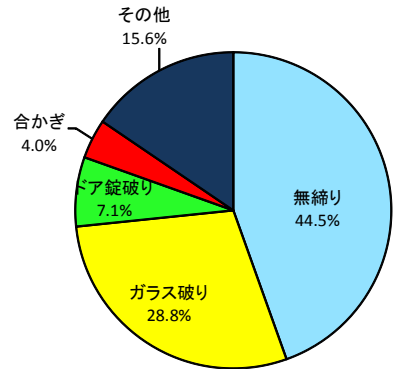
空き巣の被害
約3割！

発生場所



住宅の被害
約6割！

侵入手口

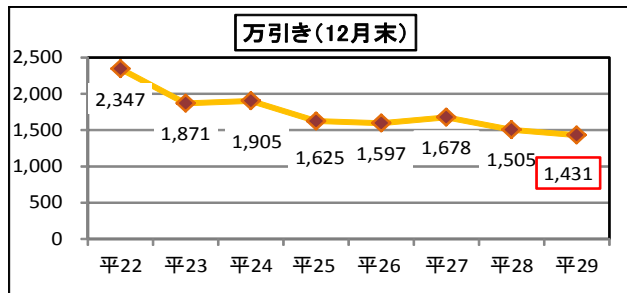


無締りの被害
約4.5割！

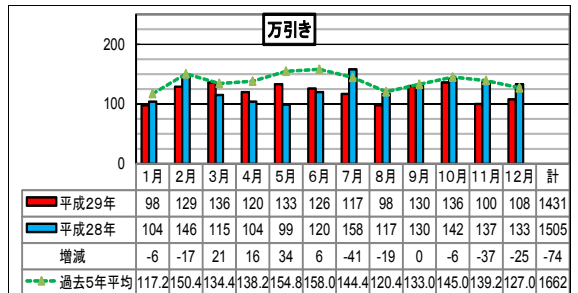
○ 万引き被害の認知状況

平成29年中 1,431件 (前年比-74件)

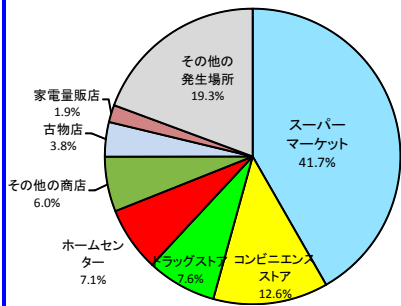
【万引き被害の認知状況】



【万引き被害月別】

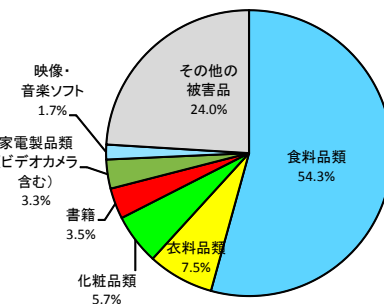


被害場所



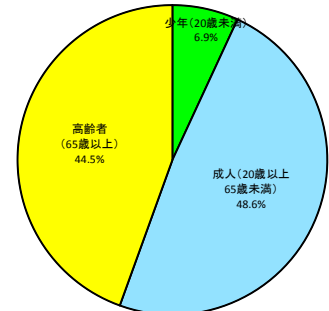
スーパーでの被害
約4割！

被害品



食料品の被害
約5.5割！

万引き犯の年代別



高齢者(65歳以上)の犯行
約4.5割！

爆盗被害が多発！！

○ 爆盗とは...

外国人等による組織的大量万引きを「爆盗」と呼んでいます。

爆盗は、ドラッグストア等で多発しており、主に化粧品やサプリメント等の高額な商品が狙われています。

○ 発生状況 (平成29年中)

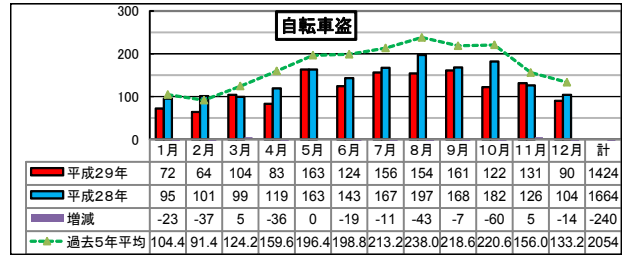
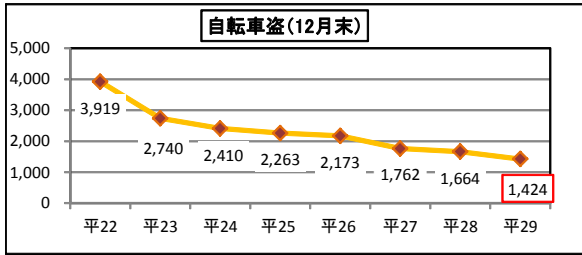
- ・ 59件 約534万円 (前年比+7件 +138万円)
- ・ 最高被害額38万2,000円

○ 自転車盗被害の認知状況

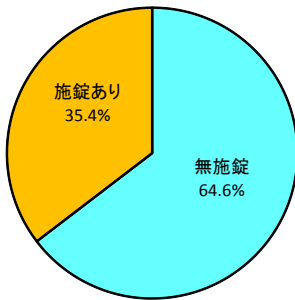
平成29年中 1,424件 (前年比-240件)

【自転車盗被害の認知状況】

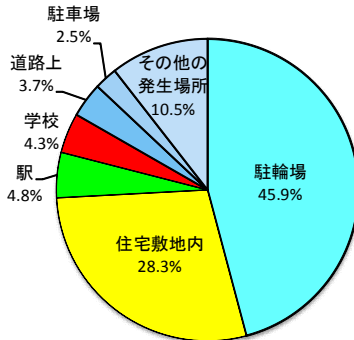
【自転車盗被害月別】



被害時の施錠状況



被害場所



職業	被害の割合	無施錠被害の割合
高校生	39.7%	66.3%
中学生	10.1%	75.7%
大学生	8.2%	65.0%
専修学校等	3.9%	64.3%
小学生	1.3%	83.3%
その他	36.8%	59.1%
全体		64.6%

無施錠での被害
約6.5割!

駐輪場での被害
約4.5割!

高校生の被害
約4割!

警察では防犯ボランティアと協力しながら駐輪場のパトロール活動や施錠の有無などを確認する防犯診断、施錠の啓発運動を行い被害の防止を呼びかけています。

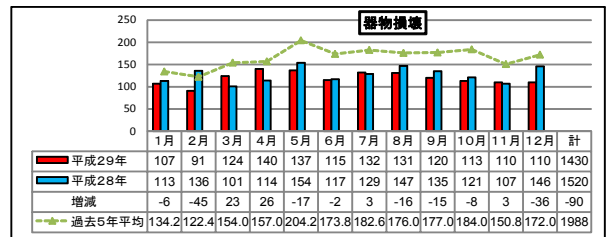
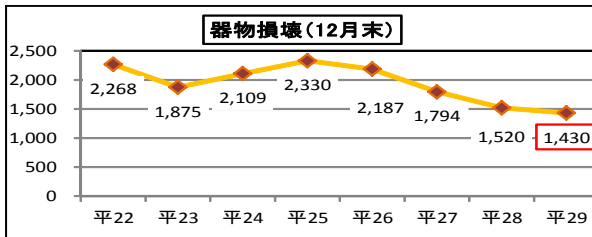


○ 器物損壊被害の認知状況

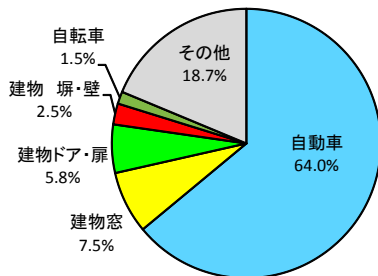
平成29年中 1,430件 (前年比-90件)

【器物損壊被害の認知状況】

【器物損壊被害月別】

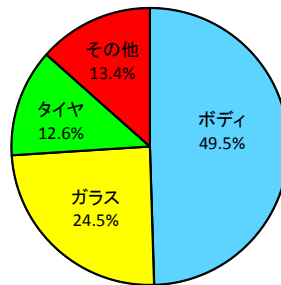


被害種別



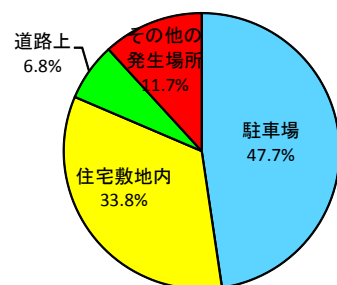
自動車の被害
約6.5割!

自動車の主な損壊箇所



ボディの被害
約5割!

自動車の主な被害場所



駐車場での被害
約5割!

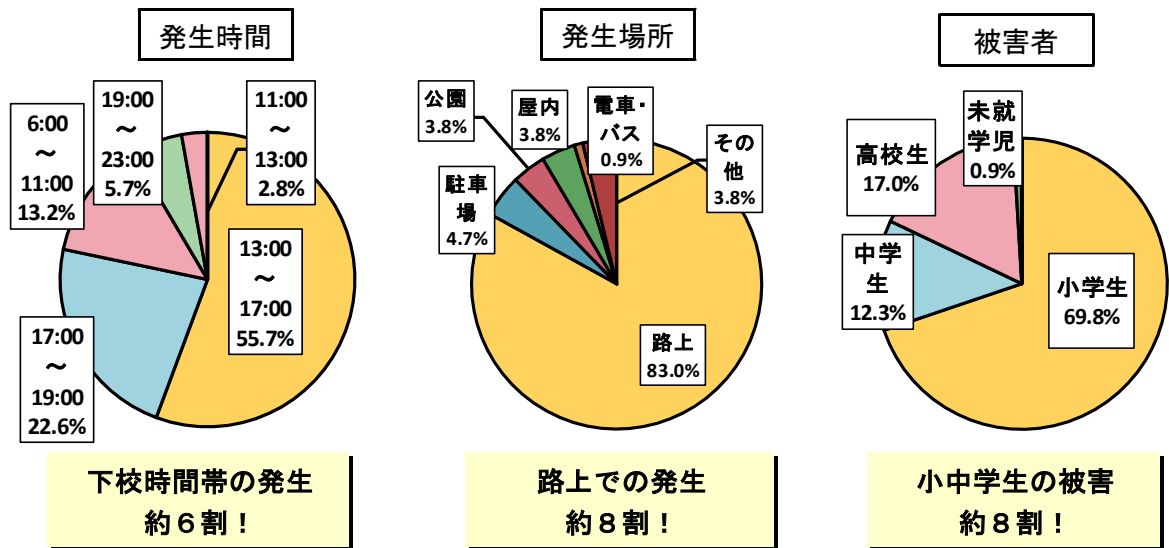
○性犯罪等の認知状況(平成29年12月末)

	29年 12月末	28年 12月末	増減件数	増減率
性犯罪	83	60	23	38.3%
前兆事案	316	239	77	32.2%
声掛け事案	106	72	34	47.2%
その他	210	167	43	25.7%
合計	399	299	100	33.4%

※その他とは、痴漢、盗撮、つきまといなどです。

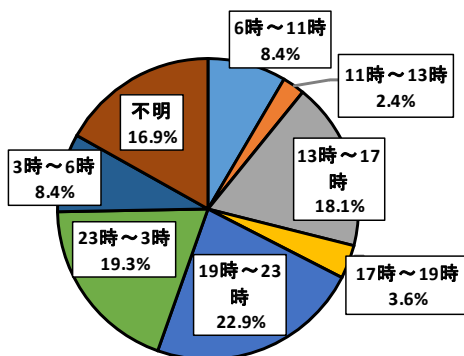


○声掛け事案の発生状況(平成29年12月末)

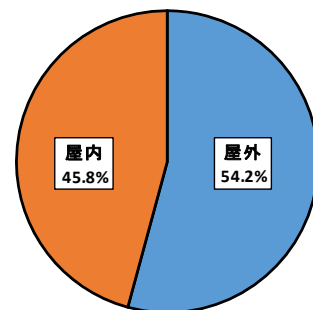


性犯罪の発生状況(平成29年)

【時間帯別発生状況】

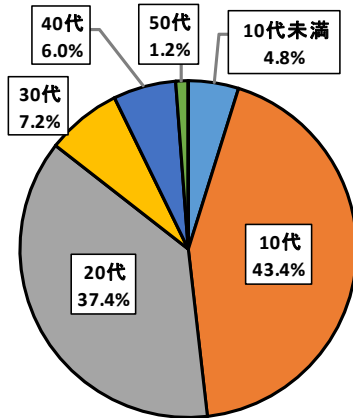


【場所別発生状況】

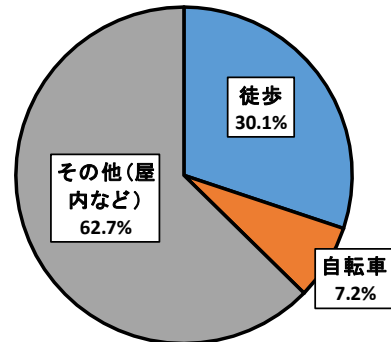


- 時間帯別では、19時から23時の間に多く発生しました。
- 被害場所別では、屋外(路上、駐車場等)が約54%、屋内(家屋内、店舗内等)が約46%となっています。

【年齢別被害状況】



【被害時の状況】



- 年齢別では、10代が約43%で最も多く、次いで20代が約37%でした。
- 被害時の状況では、徒歩で移動中の被害が約30%でしたが、自転車で移動中に被害にあったケースや就寝中に自宅に侵入されて被害にあったケースもありました。

性犯罪の被害に遭わないためには・・・

- ◇ 夜間は、人通りのある明るい道を選ぶ！
- ◇ 家族に迎えに来てもらったり、タクシーを利用したりして、深夜に一人で歩いて帰ることは避ける！
- ◇ 危険を感じたら・・・
 - 走って逃げる！
 - 大声で助けを求めろ！
 - 防犯ブザーを鳴らす！



警察では、事件捜査だけではなく、例えば、

- 学校周辺に不審者がいた
- 子供や女性に声掛けする者がいた
- 無断で容姿を撮影された

など性犯罪に発展するおそれがある事案については、積極的に行方者を割り出して指導・警告を行い、性犯罪の発生を未然に防ぐ活動もしています。少しでも気になることがあれば、警察に通報・相談してください。